

1

動物園・水族館のアニマルウェルフェア

ポイント アニマルウェルフェアの基本的な考え方をとらえよう

Q. どうしてアニマルウェルフェアは大切なのか？

動物園・水族館には、保全・教育・研究・レクリエーションの4つの役割があります。役割を果たすために動物園・水族館は動物たちが健康で快適に過ごせるように、飼育環境を整える責任があります。

保全

教育

研究

レクリエーション

アニマルウェルフェア



Q. アニマルウェルフェア（動物福祉）ってなんだろう？

A. 動物の身体的及び心理的状态のこと

アニマルウェルフェアの評価は大きくインプットとアウトプットに分けられます。動物の環境やケア、プログラムのあり方など（インプット）を考えることがわたしたちにできることです。しかし、それにどう反応するか（アウトプット）は動物次第です。両側面からの評価が大切ですが、アウトプットはアニマルウェルフェアそのものです。動物園・水族館の役割を果たしながらも、アニマルウェルフェアに配慮していくことは簡単なことではありません。それぞれの場所で、できる形を摸索する必要があります。

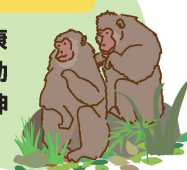
インプット
人がおこなうケア

- ・食べ物
- ・暮らす環境
- ・人との関係など



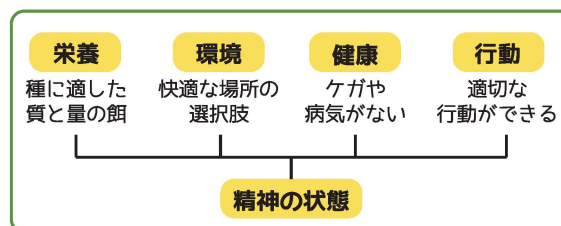
アウトプット
動物のようす

- ・健康
- ・行動
- ・精神



「5つの領域モデル」

動物園・水族館のアニマルウェルフェアを考えるうえで、5つの領域モデルが土台となっています。



アニマルウェルフェアは世界的な潮流

世界でもアニマルウェルフェアへの配慮が行われています。みんなでアニマルウェルフェアの向上を目指して、考えています。世界の信用を得るためにも、アニマルウェルフェアへの配慮は大切な条件です。



動物たちも人間と同じように、痛みを感じたり、こわいと思ったり
楽しいと感じたりする感情をもっています。

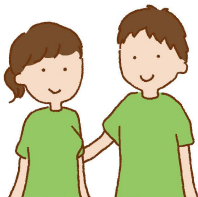
種を超えた共通点もあれば、違いもあります。

哺乳類や鳥類だけでなく、魚や一部の無脊椎動物にも
苦痛を感じる能力があるとされ、

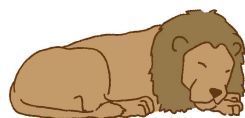
そうした動物もアニマルウェルフェアを配慮する対象とされています。



嬉しい



痛い



安心



怒り

不安



こわい



2

アニマルウェルフェアの評価と実践

ポイント 評価方法のいろいろをイメージしてみよう



アニマルウェルフェア向上を目指したステップには、評価と実践のサイクルがあります。環境エンリッチメントの場合には、SPIDER モデルと呼ばれるものがあります。目標設定・計画・実施・記録・評価・再調整のサイクルを回します。常に詳細な評価ができるわけではないのが現実ですが、環境や状況に合わせてできるものを選択します。

事実 → 解釈 → 判断 → 実践

事実と解釈の違いに注意しよう



事実→実際にあったこと
解釈→人が事実を見てどう思うか
評価はあくまで、事実の把握になります。

アニマルウェルフェアのリスク評価シート

どんなところにアニマルウェルフェアの課題があるのかについて、スコア化します。現状把握や、スクリーニングなどに適しています。

QoL 評価シート

動物の状態をスコア化して評価します。高齢個体や治療中の個体など、動物の状態が低下したときなどに使うことが多いです。動物の変化を記録することで、その場での治療方針を考えたり、後々振り返ったり、終末期の方針を考える時に使えます。もちろん健康な個体にも使えます。



行動観察

動物がどのように行動をしているのかには、動物の心身の状態が反映されています。動物の行動をシステマティックに記録することで、詳細な変化を追うことができるのが強みです。

日誌記録

日常的な記録も、集計することで大切な評価指標になります。体重の記録、血液成分、どんな行動をしていたか、餌の残り状況など日誌情報が役に立ちます。

これらで気になることがあれば、他の方法でより詳細に調べることがありうるかもしれません。

体重の記録

行動 血液成分

餌の残り状況



各種評価シートなどの参考資料はここから！ →

大学との連携

費用や技術は必要ですが、上記以外にもさまざまな評価方法があります。代表的なのは、ストレス時に変動する「グルココルチコイド」という一連のホルモンの測定で、血液・唾液・糞・尿・毛から調べられます。また、心拍変動など自律神経の反応を記録する方法もあります。これらはすべての動物に使えわけではありませんが、行動だけではわからない情報が得られます。大学などと共同で実施することで、動物園・水族館だけではできないことができることがあります。



ヤギのストレス測定のために唾液採取中



アカアシガメに心拍測定ロガー装着

3

実践してみよう

ポイント

なるべくたくさんの意見を書き出してみよう。
そこから具体的な実践を考えてみよう。

問題を解決するには時間や
お金、知識やマンパワーなど
いろいろなものがが必要です。
今できることできないこと
を書き出してみましょう

①今改善したいことは？

②解決するために

できること

できないこと



③目標決定

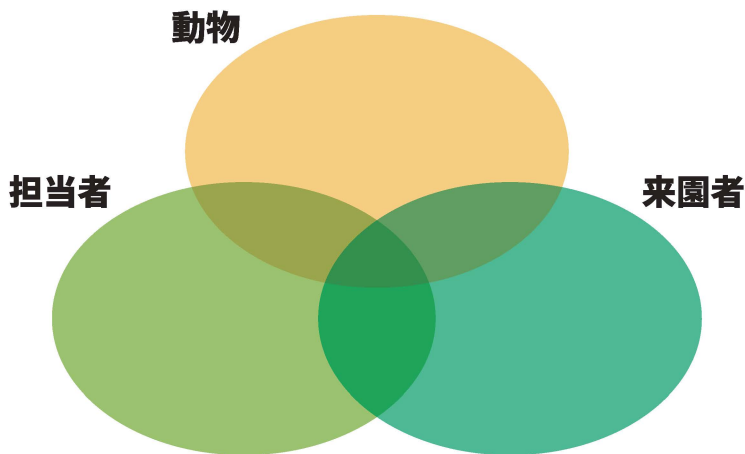
④メリット・デメリットは？ いろんな立場で考えてみよう

動物

担当者

来園者

⑤それぞれのメリットが両立できる方策を考えてみよう



⑥実際にやると決まったこと

直接書いたり、付箋を使ったりして
整理してみよう。

4

実践への道筋

ポイント みんなで支えるアニマルウェルフェア

変えられるところに焦点をあてて、
一步一步すすめよう！



実践と評価のサイクルを回す

アニマルウェルフェアの取組に終わりはありません。動物と関わることを前提とした考え方です。動物園や水族館は、それぞれの目的に沿ってその役割を考え、方向性を持つことが大切です。アニマルウェルフェアへの配慮は1か0で決められるものではないので、その時々で最善を選びます。実践と評価を重ねながら、その場所に合った形を作っていきます。

みんなで支えるアニマルウェルフェア

アニマルウェルフェアは、動物園や水族館に関わるすべての人が協力してこそ、より確かなものになります。どれか一つの立場だけでは不十分で、飼育、獣医療、研究、教育、管理、運営など、多方面からの支えが欠かせません。

時に、決断が難しいこともあります。たとえば、終末期の動物など苦痛を伴う場面では、安楽死などのつらい判断が必要になることもあります。そのためのガイドラインを作り、施設としての意思決定の方法を事前に考えておくことが大切です。

飼育担当
動物のケア
環境づくり



獣医師・研究者
獣医療など
データ収集
専門的知識の提供



管理職
資源確保
方針作り
決断
コミュニケーション



外部の人
資金提供
技術提供
応援



アニマルウェルフェア バランスを考えよう



アニマルウェルフェアに配慮するってなると、
ふれあいってもうやっちゃいけないの？

いやいや、そういうことではないですよ～
動物と関わることで、学ぶことはあるからね。
でも、アニマルウェルフェアにも配慮して、
動物を慣らしたり、適切な種や個体を選定する
とか、動物自身が参加するかどうか選択で
きるようにするなど工夫が必要ですよ。



ふれあいをしてもいいけど、ふれあいに
こだわる必要もないってことか～

とはいえ、それぞれの場所で、教育方針な
ども異なるし、人員の数なども違います。
だから、それぞれの場所でそれぞれの形で
やる必要があるよね。結果的に、ふれあい
をしないという選択もあるだろうし。



保全とか教育とかの目的があってこそ
だから、バランスも考えながらやるの
は大変だけど、がんばらないとですね。

そうですね～。どちらにせよ、動物がどん
なふうに反応するのかとか、アニマルウェ
ルフェアについては色々考えたいよね。



リソースリスト



SHAPE-Japan



動物の行動と管理学会



Wild Welfare
(英語)



市民 ZOO ネットワーク



スターリング大学
アニマルウェルフェア
評価ツール (英語)



米国獣医学会
動物の安楽死指針
(英語)

作成：山梨裕美・工藤宏美（京都市動物園）、安西航・加古智哉・
柏木伸幸・川瀬啓祐・萩原慎太郎・伴和幸（公益社団法人日本
動物園水族館協会・調査研究委員会アニマルウェルフェア研究
部）、一方井祐子（金沢大学）、大谷祐紀（北海道大学）、林美里（中
部学院大学）デザイン：sirokumao トヨタ財団 2023 年度研究
助成プログラム「動物園でかたちづくる人と動物の共生の形：
動物福祉の評価と実践」（D23-R-0028、代表者：山梨裕美）
の助成を受けて、本リーフレットを作成しました。

2025 年 9 月発行



日本動物園水族館協会
JAPANESE ASSOCIATION OF ZOOS AND AQUARIUMS

